

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

<第1部>

[日 時] 令和7年12月18日(木) 15時00分～16時30分

[場 所] 逗子葉山高等学校 会議室

[出席者]【委 員】 熊谷 啓明 (逗子市立沼間中学校校長)

雨宮 彰子 (逗子市立沼間小学校校長)

水留 純子 (葉山町地域学校協働活動推進員)

本藤 太郎 (逗子文化プラザ市民交流センター副館長)

栗原 達也 (市民協働部次長 市民協働課長事務取扱)

城藤 弓恵 (東逗子商栄会役員)

佐藤 眞理子 (イトーピア自治会代表)

町田 ひとみ (本校PTA会長)

平 容久 (本校校長)

【事務局】 長谷川 千栄子 (副校長) 片倉 保宏 (教頭) 内藤 朋子 (事務長)
長嶺 圭介 (教務) 若槻 ゆかり (研究・広報) 城戸 信吾 (キャリア支援)
下城 壘 (生徒指導) 古屋 明子 (生徒活動支援) 沼野 剛士 (管理運営)

[欠席者] 2 名

[議 事] 司会 副校長

1 校長あいさつ

- ・9月26日、27日 文化祭開催。調理・食販団体が販売、花火の打ち上げをしました。
- ・11月11日～14日 2学年修学旅行、無事終了。
- ・11月中旬～下旬 インフルエンザの蔓延で学級閉鎖(1学年, 3学年)・学年閉鎖(3学年)。
- ・8月21日、10月25日、12月13日 全3回の学校説明会終了。

2 学校運営協議会の組織について

出席者確認のみ

3 協議

(1) 令和7年度 逗子葉山高等学校の取組（中間報告）について

【教務】

・一人一台端末について：1年生は全員 iPad を使用して授業を受けている。教員・生徒ともに便利だという意見が出ている。ロイロノートとクラスルームの使い分けについて考えていく必要がある。

【生徒活動支援】

・生徒会が新役員に引き継がれた。生徒会が主導となって、実行委員とともに行事を運営している。また、生徒会が中心となって、インスタグラムにて高校の様子を発信している。

・12月16日 地域の方とのタウンミーティングを実施。39名の生徒が参加。

・SC、SSWが週1回来校している。各学年の教育相談コーディネーターと連携して、生徒の支援を行っている。

【生徒指導】

・10月・11月、交通安全委員が交通安全教育の活動を行った。小学校で紙芝居をしたり、警察の講話を聴いたりした。

・登下校時に、教員が学校周辺で服装指導を行っている。服装に関しては年々改善が見られる。

【キャリア支援】

・こだわりを持って進路選択をできるように、3年間を通して進路ガイダンスを行っている。

・年内入試を実施する学校が増加傾向にあり、生徒・保護者ともに年内入試を希望している人が多くなってきた。本校では年内入試への対策が手薄なため、今後は進路業者と連携して改善していきたい。

【研究・広報】

・逗子市や逗子文化プラザホールと協働し、生徒向けワークショップを実施した。夏季休業中の実施だったため、参加生徒が少なかった。

・地域清掃（桜山公園・東逗子駅周辺）は年6回ほど実施し、参加生徒は約20名。今年度、6月の逗子海岸清掃は雨天のため未実施。

【管理運営】

- ・美化委員：文化祭のゴミ捨て、避難訓練時の靴拭き用ぞうきんの掃除などを行った。
- ・登下校時、校外でのゴミのポイ捨てが課題。

【事務長】

- ・校舎の老朽化にともない、校舎の修繕を行っている。
- ・職員休養室にエアコンを設置する予定。

【教頭】

- ・職員ストレスチェック：全県の中でかなり低い数値。一方で、時間外労働は減少せず。

（２）その他（意見交換）

【意見】

働き方改革が進まない、できないのではないかと。教員の仕事はキリがない、どこかでキリをつけるべきだが、なかなか難しい。

【質問１】

高校の部活動は、どのように指導しているか。

【回答１】

専門の教員がいない場合は、積極的に外部インストラクターに指導を依頼している。専門の先生は熱心に指導していただいている一方で、部活動指導により時間外労働が増加している。

【質問２】

私立高校では授業料の無償化が進んでいるが、公立高校ばなれを防ぐために対策をしているか。

【回答２】

現在、新校として土台を作っている段階。これから対策を考えたいと思っている。

【質問３】

時間外労働は減少していないが、ストレスチェックは低い。何か工夫していることがあるか。

【回答３】

管理職と職員及び職員間のコミュニケーションが円滑で、話しやすく風通しの良い職場だと感じている。

【質問4】

今年の修学旅行で神戸方面に行っていたが、以前の修学旅行は沖縄に行っていたような気がする。行き先は学年ごとに変えているのか。

【回答4】

3年ごとに行き先を見直していて、現在の1～3年生は関西方面に行くことになっている。今年の2年生は神戸・大阪方面で震災学習などを行った。来年の2年生は、広島で平和学習を行う予定。

4 事務局から

(1) 今後の日程について

第3回学校運営協議会：3月に書面開催予定

(2) その他

特になし

<第2部 地域協働部会>

1 地域協働部会の構成メンバーの確認

学校運営協議会委員より5名（水留 純子、本藤 太郎、栗原 達也、城藤 弓恵、佐藤 眞理子）

学校運営協議会事務局より6名（長谷川 千栄子、内藤 朋子、若槻 ゆかり、下城 壘、古屋 明子、沼野 剛士）

部会長選任 水留 純子 様

副部会長選任 栗原 達也 様

2 逗子葉山高等学校の地域協働について

別紙あり

【報告】

アートフェスティバルではヒップホップのイベントで、そのリリックにインスピレーションを受けて写真を撮ってもらい、本を作成→全部配布。3月には卒業展覧会も開催予定。

【感想】

今年度平和イベントで合唱部に歌を歌ってもらった。アートフェスティバルでも生徒さんたちが参加してくださり、感謝申し上げたい。

【質問 5】

タウンミーティングはどのようなものですか。

【回答 5】

逗子桜山ハイツの自治会長と調整し、五桜会に声をかけていただき、5つの団体（自治会）に来ていただきました。グループトークでした。生徒は39名参加しました。

【質問 6】

逗子市と逗子葉山高校はどのような関係か。補助金などを高校は受け取っているのか。逗子市と葉山町、両市町との関係を深めていけるとよい。

【回答 6】

補助金などは受け取っていません。

【質問 7】

清掃活動しているということだが、ゴミはどこに捨てているのか。学校の周りを掃くなどの活動をしてみてはいかがか。

【回答 7】

桜山公園の清掃は校内で分別して廃棄している。東逗子周辺では地域の方の協力を得て、廃棄は地域の方のお願いしている。逗子海岸では美化財団に協力してもらい、海岸の指定の場所に捨てている。

【意見】

文化祭の花火を地域の方が楽しみにしている。地域として協力できることがあればしたい。

【質問 8】

タウンミーティングの内容を生徒にどのようにフィードバックをしているか。

【回答 8】

どのようにフィードバックをするか検討中である。

【報告】

校内での生徒指導について：バスの乗車マナー（乗車場所）について近隣の方に迷惑がかからないように指導している。

<第 2 部 教育交流部会>

1 教育交流部会の構成メンバーの確認

学校運営協議会委員より 3 名（熊谷 啓明、雨宮 彰子、町田 ひとみ）

学校運営協議会事務局より 4 名（平 容久、片倉 保宏、長嶺 圭介、城戸 信吾）

部会長選任 熊谷 啓明 様

2 逗子葉山高等学校の教育交流について

【教務】

- ・一人一台端末について：1 年生が iPad でロイロノートを使用していることが大きな変化。
- ・県全体で採点システムを導入。本校では、2 学期中間テストで試験導入、2 学期期末テストで可能な科目から導入。

【感想】

中学校では採点システム「リアテンダント」を使用。思考判断表現の観点で記述問題を出題した方がよいと思っているが、リアテンダントを使用しているため、記号問題の出題が増えてきてしまった。

【質問 9】

タブレット端末を忘れている生徒にはどのように対応しているか。

【回答 9】

スマホは携帯しているのでスマホで代用している。教科書、ノート、紙プリントならではの利便性からタブレット端末を使用しない科目もあり、タブレット端末の使用を浸透させることが課題。

【キャリア】

- ・ 年内入試について、生徒・保護者が理解していないことがあった。年内入試についての説明会が必要。
- ・ 年内入試の希望が大半で、一般入試の希望は少ない。年内入試に向けて面接指導、論文対策の機会が少ないため、進路業者と連携して改善していきたい。一方で、予算との兼ね合いがあり、踏み切れていないところがある。
- ・ 1 学年では分野別ガイダンスを実施し、上級学校の先生を学校に招いて、生徒の分野理解、職業理解を進めている。

【質問 10】

総合型選抜で複数校受けているのか。専願だと浪人の選択肢も出てくるのか。

【回答 10】

併願できる学校もある。昨年度不合格だった生徒で、今年度も受験予定の卒業生は聞いている。

【校長】

学力の向上には時間を要し、そのための新たな取り組みは教員の業務負担を増やしてしまう。一回一回の授業が重要と考えている。「チャイムで始まりチャイムで終わる授業」を徹底していきたい。

【質問 1 1】

小中学校では、特性のある児童生徒が増えてきているのか。

【回答 1 1】

- ・ 小学校では、特性のある児童が増えている。特に集団活動に困難を抱えている児童がいる。
- ・ 中学校では、別室登校をしている生徒がいる。資料が整わない生徒が逗子葉山高校への受検をする年もある。